

小中一貫とは？

メディアなどで取り上げられる小中一貫校は、「○○学園」「○○義務教育学校」という校名となっており、このような学校は義務教育学校となっているものがほとんどです。

本町が目指す小中一貫校とは、何が違うのでしょうか？大きな違いは以下の通りです。

義務教育学校

●9年間をかけて義務教育の教育課程を修了する。

〈例〉前期課程5年、後期課程4年

●小学校、中学校両方の免許を有した教員の配置

小中一貫校

●小学校と中学校における教育を一貫して行う。

〈例〉小学部6年、中学部3年

●所属する学校の免許状を有している教員の配置

(H29文部科学省
小中一貫教育導入状況調査より)

西ノ島小中一貫校について

来年度から始まる小中一貫校について、現在決まっていることをお知らせします。

学校名

●西ノ島小中学校とする。

組織

●校長1名、教頭2名のもと一つの組織とする。(職員室も一つ)

学年割

●小学部6年 中学部3年とする。

制服・体操服

●現在のものをそのまま使用する。

校章・校歌

●現在のものをそのまま使用する。

以上のように、児童・生徒が学校生活を送るうえで、大きく変わることはありません。しかし、令和3年度より小中一貫した教育目標・教育課程をスタートすることで、小学部・中学部どちらの教員も相互に連携をとり、全ての児童生徒に対して全ての教職員で指導を行います。子どもの成長を考えると、うえでも大きなメリットがあると考えています。

現在のところ、このような検討結果となっております。

今後、さらに検討を進めていきますので、小中一貫教育に関するご質問やご意見をお寄せください。

【窓口】西ノ島町教育委員会

610171



小学校校章



中学校校章

公民館の取組

しまっこ広場

夏休みの宿題に生かそう

中央公民館では、毎週土曜日小学生を対象にした「しまっこ広場」を行っています。夏休み期間中は、宿題の手助けとなるよう「実験」「工作」などを取り入れた活動を行いました。

8月8日(土)は若者宿で、竹細工を行いました。口村光房さんを講師に迎え、9名の小学生が参加し、竹を小刀で切り、竹とんぼを作りました。初めのうちは危ない手つきで小刀を扱っていた小学生でしたが、口村さんより「こつは刀ではなく竹を動かす」など小刀を使うこつについて聞きながら作業し、徐々に上手になっていきました。



他の竹細工である竹ぼっくりなども紹介され、子どもたちは楽しんで遊びました。

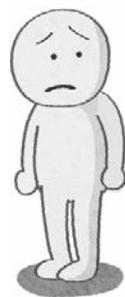
完成した竹とんぼで、競争をして盛り上がりました。勝者には竹ぼっくりのプレゼントがありました。楽しみながらも学びのある良い活動となりました。



人権意識を高く持ち、
住みよい西ノ島町にしましょう!



噂になるから、
1人目の感染者にはなりたくない!



どこそこのだれだれが
都会から帰ってきてるみたいだぞ。



感染なんかしたら、
「後ろ指」ちられちゃう!

新型コロナウイルスには、誰もが感染する可能性があります。
しかし、このような噂話や気持ちがあると、差別を受けるのが怖くなり、熱や咳があっても受診をためらい、結果としてウイルスの拡散につながってしまいます。

闘う相手はウイルスです。人ではありません。
こんな時こそ、一致団結して、ウイルスに打ち勝ちましょう!

《新型コロナウイルスに関する人権侵害の相談窓口》

島根人権啓発センター ☎ 0852-22-7701
法務局「みんなの人権110番」 ☎ 0570-003-110
西ノ島町役場 町民課 ☎ 08514-6-0103



STOP!
コロナ差別

#正しい理解を
#差別はやめよう

